

# 東大阪市子ども・子育て会議（第34回）

## 会 議 次 第

令和元年10月30日(水)  
午前10時から午前12時  
総合庁舎 18階 大会議室

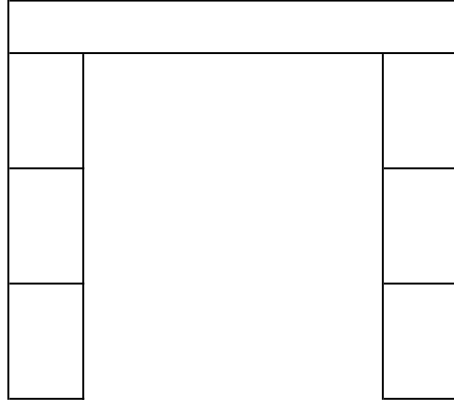
1. 開会
2. 議事
  - (1) 第2期子ども・子育て支援事業計画における各事業の需要量（ニーズ量）等について【資料1】
  - (2) 在宅子育て家庭の座談会について【資料2】
  - (3) 第2期子ども・子育て支援事業計画（骨子案）について【資料3】
3. その他
4. 閉会

東大阪市子ども・子育て会議（第34回） 配席表

入口

中川副会長  
○  
関川会長  
○

福田委員 ○  
三宅委員 ○  
吉岡委員 ○  
好川委員 ○  
渡土委員 ○



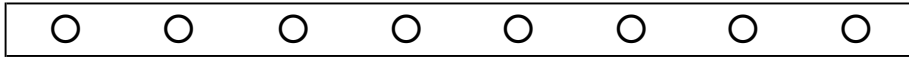
○ 奥野委員  
○ 竹内委員  
○ 竹村委員  
○ 田原委員  
○ 中泉委員  
○ 中村委員



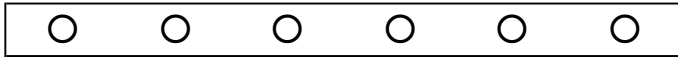
傍聴席



社会  
福原  
部長
学校  
岩本  
教育部長
教育次長  
諸角  
(教育監事務取扱)
教育次長  
大原
副市長  
立花
子どもすこやか部長  
平田
保育  
関谷  
室長
子ども子育て室長  
川西



学校  
森田  
教育推進室長
学校  
来田  
教育部次長
青少年スポーツ室次長  
樽井
青少年スポーツ室長  
山本
子どもすこやか部次長  
菊池
子育て支援課長  
小泉
子ども応援課長  
藤原
施設指導課長  
村田



学校  
上田  
教育推進室次長
子ども見守り課長  
薬師川
子ども家庭課長  
大川
母子保健・感染症課長  
鷺ノ森
保育室次長  
大西
保育室次長  
山口

子ども・子育て会議委員名簿(順不同、敬称略)

		氏名
1	大阪大谷大学教育学部教育学科准教授	井上 寿美
2	東大阪市立小学校長会役員(理事 会計監査)	植田 勝
3	幼稚園保護者	奥野 大輔
4	東大阪労働組合総連合委員	
5	大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類 教授	関川 芳孝
6	公立保育所長代表	竹内 純子
7	東大阪市私立幼稚園協会会長	竹村 明
8	東大阪市留守家庭児童育成クラブ連絡会副会長	田原 広史
9	保育所保護者	中泉 あゆみ
10	大阪人間科学大学人間科学部社会福祉学科教授	中川 千恵美
11	東大阪市障がい児通所支援事業所連絡会会長	中西 良介
12	認可外保育施設の代表者	中村 成伸
13	東大阪労働団体連絡協議会委員	福田 実加
14	東大阪市立幼稚園・こども園長会代表	三宅 清香
15	東大阪大学副学長	吉岡 眞知子
16	東大阪市私立保育会会長	好川 智也
17	東大阪市PTA協議会副会長(母親代表)	渡士 奈央子

## 配布資料一覧

【資料1-1】第二期東大阪市子ども・子育て支援事業計画 需要量等について

【資料1-2】就学前の教育・保育の需要量（ニーズ量）について

【資料1-3】令和元年度 子ども・子育て支援事業計画確保方策の検討について

【資料2】東大阪市在宅子育て座談会（ワールドカフェ）まとめ

【資料3】東大阪市子ども・子育て支援事業計画（骨子案）

第二期東大阪市子ども・子育て支援事業計画 需要量について

資料1-1  
第34回子ども・子育て会議

・就学前児童の学校教育・保育について

No	事業名	事業概要等	提供区域	対象者等	需要量					(参考) R2.4の 供給量	確保方策	事業所管課
					令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年			
(1)	就学前児童の学校教育・保育の提供体制	≪事業内容≫幼児期における質の高い学校教育・保育の提供と待機児童等の解消に向けて、認可保育園の整備、幼保連携型認定こども園への移行及び小規模保育施設の整備を推進する。	市域全体	1号	4,230	4,124	4,051	3,982	3,921	6,541	資料1-2のとおり	施設指導課
				2号	5,034	4,906	4,819	4,737	4,664			
				2号(幼稚園)	343	333	327	321	316			
				2号合計	5,377	5,239	5,146	5,058	4,980			
				3号(0歳)	745	750	756	758	762			
3号(1・2歳)	2,955	2,989	2,992	2,990	2,980	3,181						

・地域子ども・子育て支援事業

No	事業名	事業概要等	提供区域	対象者等	需要量					(参考) R2.4の 供給量	確保方策	事業所管課
					令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年			
(2)	延長保育(時間外保育)事業(開所時間を超えた後の延長)	11時間の開所時間を超えて保育を実施する。 ≪実施場所≫各保育所(園)	市域全体	—	5,679	5,561	5,453	5,339	5,232	—	供給量確保済み	子育て支援課 保育室 学校教育推進室
(3)	留守家庭児童育成事業	≪対象≫小学校又は義務教育学校(前期課程)等の児童 ≪事業内容≫保護者が就労等で放課後家庭にいない児童をあずかり、児童の安全確保と遊びを主とした生活指導を行い、児童の健全育成を図る。 ≪実施場所≫小学校又は義務教育学校(前期課程)内	小学校又は義務教育学校(前期課程)区	1年	1,667	1,631	1,586	1,550	1,510	4,274	小学生や次年度小学校に入学する園児を対象にした留守家庭児童育成クラブ入会希望調査を今後も行い、定員を超える入会希望者がいる学校については、教室の提供について個別に協議をする等してより多くの児童の入会を確保していく。	青少年スポーツ室
				2年	1,063	1,038	1,010	987	962			
				3年	969	946	921	900	876			
				4年	471	460	448	437	426			
				5年	229	223	217	212	207			
				6年	108	105	102	100	97			
				合計	4,507	4,403	4,284	4,186	4,078			
(4)	子育て短期支援事業(ショートステイ)	●平成26年度現在 ≪対象≫保護者が、疾病・疲労など身体上・精神上・環境上により児童の養育が困難となった場合 ≪事業内容≫児童養護施設などにおいて児童を預かる。 ≪実施場所≫児童養護施設(5施設)・乳児院(1施設)	市域全体	—	1,094	1,064	1,060	1,030	999	1,200	供給量確保済み	子ども見守り課
(5)	地域子育て支援拠点事業	【子育て支援センター(旭町・鴻池・荒本・長瀬・楠根・布施)】 ≪対象≫就学前児童と保護者 ≪事業内容≫公共施設や保育所(園)等の地域の身近な場所で、子育て中の親子の交流・育児相談等の基本事業を実施する。 ≪実施場所≫6施設で実施 【つどいの広場】 ≪対象≫就学前児童と保護者 ≪事業内容≫主に乳幼児とその親が、いつでも気軽に参加できる交流の場を設置する。 ≪実施場所≫18箇所で開催	リージョン	人日/月	8,210	8,082	7,905	7,713	7,520	99,415	資料1-3のとおり	保育室
				人日/年	98,521	96,981	94,857	92,552	90,237			子育て支援課

No	事業名	事業概要等	提供区域	対象者等	需要量					(参考) R2.4の 供給量	確保方策	事業所管課
					令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年			
(6)	一時預かり事業 ① 幼稚園型（幼稚園及び認定こども園における在園児を対象とした一時預かり）	教育課程に係る教育時間の前後や休業日などに、地域の実態や保護者の要請に応じて、当該幼稚園の園児のうち希望者を対象に教育活動を実施する。 新制度：幼稚園・認定こども園において教育標準時間を主な対象とした「一時預かり事業」の「幼稚園型」として新たに位置づけられている。 《実施場所》各幼稚園・認定こども園	市域全体	—	72,061	70,234	68,993	67,818	66,749	—	供給量確保済み	子育て支援課 学校教育推進室 保育室
(7)	一時預かり事業 一般型（就労型）（リフレッシュ型）	（就労型）主に就労しているが保育所（園）に入所できない場合や不規則の就労に対応。実施主体や施設基準は従来の一時預かり事業と同様に既存の保育所（園）や今後拡充する認定こども園などで受け入れを行う事業である。 《実施場所》各保育所（園）・認定こども園 （リフレッシュ型）主に在宅で子育てされている方を対象としてリフレッシュや通院などが目的の一時的な預かりに対応している。実施基準は従来の一時預かり事業と別に本市独自の新たな基準を設け、施設設備や配置基準等を緩和した基準を設定することにより、保育所（園）以外に民間企業や大学など様々な拠点で実施できるよう拡充を図っている。	市域全体	—	62,804	62,352	60,649	59,026	57,205	97,200	資料1-3のとおり	保育室 子育て支援課
(8)	病児保育事業	《対象》児童が発熱等の急な病気となった場合 《事業内容》児童が病気回復期に至らない場合で当面症状の急変が認められない場合や児童が病気の回復期であり、集団保育の困難な期間に病院等に付設された専用スペースにおいて一時的に預かる事業である。	市域全体	—	2,727	2,671	2,618	2,564	2,512	4,800	資料1-3のとおり	子育て支援課 保育室
(9)	子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）（就学児）	《事業内容》主に児童の預かりや送迎・育児のリフレッシュなどにつき、子育ての援助を受けたい方（依頼会員）からファミリー・サポート・センターへ援助の依頼があり、依頼内容を引き受ける方（援助会員）へつなぐ相互援助ネットワークとして組織する。	市域全体	低学年 高学年	120 128	117 125	114 122	111 119	109 116	—	供給量確保済み	子育て支援課
(10)	乳幼児家庭全戸訪問事業	【こんにちは赤ちゃん事業】 《対象》生後4か月までの乳児のいるすべての家庭 《事業内容》各家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う。	市域全体	—	3,400	3,300	3,200	3,100	3,000	3,400	供給量確保済み	母子保健・感染症課
(11)	養育支援訪問事業	《対象》養育支援が特に必要な家庭 《事業内容》家庭訪問して、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるための支援（相談支援、育児・家事援助など）を行う。	市域全体	—	50	50	50	50	50	50	供給量確保済み	子ども見守り課
(12)	妊婦健診	《対象》妊婦 《事業内容》市町村が、必要に応じて妊産婦に対して健康診査を行います。妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、必要な回数（14回程度）の妊婦健診を受けられるよう、公費負担を実施する。	市域全体	—	47,600	46,200	44,800	43,400	42,000	47,600	供給量確保済み	母子保健・感染症課
(13)	利用者支援事業	《事業内容》子どもまたはその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する。	市域全体	—	4	4	4	4	4	4	供給量確保済み	子育て支援課 子ども応援課

## 就学前の教育・保育の需要量(ニーズ量)について

国が提示するニーズ量の算出方法は、

アンケート結果から家庭類型(フルタイム・パートタイム・無職など)と家庭類型ごとの利用意向率を算出してニーズ量を算出する。そのため、令和2年度から人口減少に伴いニーズ量が下がっていく推計になります。 ⇒ 例 0歳 試算1 第1期事業計画と同じ算出

## 今回のアンケート調査から見えてくる傾向

- ・子育て世帯において働く女性の増加
- ・定期的な教育・保育事業の利用を希望する子どもの年齢が低年齢化の傾向

## ・母親の就労状況の変化

就学前児童	当初計画 (平成25年度)	中間見直し (平成29年度)	今回調査 (令和元年度)	当初計画からの増加
フルタイムで就労している (育休・介護休暇中を含む。)	22.1%	29.4	30.9%	8.8%
パート・アルバイト等で就労している。 (育休・介護休暇中を含む。)	22.6%	24.1	26.3%	3.7%
合計	44.7%	53.5	57.2%	12.5%

・子どもが何歳になれば定期的な教育・保育事業を利用しようと考えているか。  
(定期的な教育・保育を利用していない方の回答)

	当初計画 (平成25年度)	中間見直し (平成29年度)	今回調査 (令和元年度)	当初計画からの増加
1歳	7.7%	15.8%	24.1%	16.4%
2歳	7.9%	8.8%	10.0%	2.1%
3歳	49.4%	55.1%	50.2%	0.8%
4歳	27.3%	18.8%	10.9%	-16.4%
5歳	2.7%	1.2%	0.9%	-1.8%
6歳以上	0.6%	0.2%	0.8%	0.2%
無回答等	4.4%	-	-	-

上記のことから、就学前人口は減少傾向であるが、利用希望は上がってくると見込まれる。

今後の就労状況の変化を勘案して試算

具体的には、現在の就労状況と1年以内の希望する就労状況を比較して就労状況の変化を見込んでニーズ量を試算。 ⇒ 例 試算2 就労状況の変化を勘案して算出

(参考資料 アンケート調査より抜粋)

**宛名のお子さんの保護者の方の就労状況についてうかがいます。**

問 16 宛名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、①現在の状況と

②1年以内の希望（実現見込みがある）をお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※1年以内の希望について、1年以内も同様の就労状況を希望される場合は、同じ番号を選択してください。

※父親について母子家庭の場合は記載不要です。また、母親について父子家庭の場合は記載不要です。

		1. フルタイム 【週5日、 1日8時間程度】	2. パート・ アルバイト 【週30時間以上】	3. パート・ アルバイト 【週30時間未満】	4. 就労して いない
① 現在の状況	(1) 父親（保護者） ○は1つ	1	2	3	4
	(2) 母親（保護者） ○は1つ	1	2	3	4
② 1年以内の希望	(1) 父親（保護者） ○は1つ	1	2	3	4
	(2) 母親（保護者） ○は1つ	1	2	3	4

## 0歳児の試算

推計人口

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0歳児	3,217	3,140	3,067	2,988	2,910

試算1 第1期事業計画と同じ算出

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0歳児	745	726	709	690	674
推計人口との割合	23%	23%	23%	23%	23%

試算2 就労状況の変化を勘案して算出

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0歳児	745	750	756	758	762
推計人口との割合	23%	24%	25%	25%	26%



## 1・2歳児の試算

推計人口

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1歳児	3,299	3,237	3,160	3,086	3,007
2歳児	3,272	3,258	3,197	3,121	3,048
合計	6,571	6,495	6,357	6,207	6,055

試算1 第1期事業計画と同じ算出

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1・2歳児	2,955	2,920	2,858	2,790	2,721
推計人口との割合	45%	45%	45%	45%	45%

試算2 就労状況の変化を勘案して算出

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1・2歳児	2,955	2,989	2,992	2,990	2,980
推計人口との割合	45%	46%	47%	48%	49%

## 1・2号推計

推計人口

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3歳児	3,339	3,245	3,231	3,171	3,095
4歳児	3,391	3,322	3,228	3,215	3,155
5歳児	3,472	3,376	3,308	3,215	3,201
合計	10,202	9,943	9,767	9,601	9,451

試算1 第1期計画のとおり集計

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2号	5,034	4,906	4,819	4,737	4,664
2号(幼稚園利用)	343	333	327	321	316
2号合計	5,377	5,239	5,146	5,058	4,980
1号	4,230	4,124	4,051	3,982	3,921
合計	9,607	9,363	9,197	9,040	8,901
推計人口との割合	94%	94%	94%	94%	94%

2号の人口との割合 52.7%

ニーズ量(全体)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0歳児	745	750	756	758	762
1・2歳児	2,955	2,989	2,992	2,990	2,980
2号	5,377	5,239	5,146	5,058	4,980
1号	4,230	4,124	4,051	3,982	3,921

供給量推計

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0歳児	853	824	818	818	818
1・2歳児	3,122	3,140	3,077	3,000	3,000
2号	5,449	5,494	5,477	5,477	5,387
1号	6,541	6,541	6,541	6,541	6,541

供給量について

令和2年4月 定員集計(2020年)

	0歳児				1・2歳児				3歳児以上				合計
	認可保育施設定員(R1.4)	市施設整備(R2.4開園)	企業主導型	合計	認可保育施設定員(R1.4)	市施設整備(R2.4開園)	企業主導型	合計	認可保育施設定員(R1.4)	市施設整備(R2.4開園)	企業主導型	合計	
A	40	6	4	50	170	18	8	196	309	36	3	348	594
B	92	11	35	138	393	44	59	496	741	54	23	818	1,452
C	93		41	134	387		68	455	834		27	861	1,450
D	112	10	17	139	512	28	29	569	877	56	12	945	1,653
E	49		6	55	183		9	192	358	24	4	386	633
F	162	19	33	214	622	55	55	732	1,105	54	22	1,181	2,127
G	96	6	21	123	428	18	36	482	860	36	14	910	1,515
合計	644	52	157	853	2,695	163	264	3,122	5,084	260	105	5,449	9,424

令和3年4月 定員集計(2021年)

(公立再編整備 鳥居保育所・岩田保育所・御厨保育所・友井保育所 0歳児から入園停止・Dリージョン民間保育施設60人定員整備)

	0歳児				1・2歳児				3歳児以上			
	R2.4供給量	市施設整備(R3.4開園)	公立再編整備	合計	R2.4供給量	市施設整備(R3.4開園)	公立再編整備	合計	R2.4供給量	市施設整備(R3.4開園)	公立再編整備	合計
A	50			50	196			196	348			348
B	138	1	-12	127	496			496	818	9		827
C	134			134	455			455	861			861
D	139	6	-6	139	569	18		587	945	36		981
E	55			55	192			192	386			386
F	214		-6	208	732			732	1,181			1,181
G	123		-12	111	482			482	910			910
合計	853	7	-36	824	3,122	18	0	3,140	5,449	45	0	5,494

令和4年4月 定員集計(2022年)

(公立再編整備 1歳児入園停止 高井田保育所 建替えに伴う定員減)

	0歳児				1・2歳児				3歳児以上			
	R3.4供給量	公立再編整備	高井田建替え	合計	R3.4供給量	公立再編整備	高井田建替え	合計	R3.4供給量	公立再編整備	高井田建替え	合計
A	50			50	196			196	348			348
B	127			127	496	-16		480	827			827
C	134			134	455			455	861			861
D	139			139	587	-10		577	981			981
E	55			55	192			192	386			386
F	208		-6	202	732	-10	-7	715	1,181		-17	1,164
G	111			111	482	-20		462	910			910
合計	824	0	-6	818	3,140	-56	-7	3,077	5,494	0	-17	5,477

令和5年4月 定員集計(2023年)

(公立再編整備 2歳児入園停止)

	0歳児				1・2歳児				3歳児以上			
	R4.4供給量	公立再編整備		合計	R4.4供給量	公立再編整備		合計	R4.4供給量	公立再編整備		合計
A	50			50	196			196	348			348
B	127			127	480	-21		459	827			827
C	134			134	455			455	861			861
D	139			139	577	-15		562	981			981
E	55			55	192			192	386			386
F	202			202	715	-15		700	1,164			1,164
G	111			111	462	-26		436	910			910
合計	818	0	0	818	3,077	-77	0	3,000	5,477	0	0	5,477

令和6年4月 定員集計(2021年)

(公立再編整備 3歳児入園停止)

	0歳児				1・2歳児				3歳児以上			
	R5.4供給量	公立再編整備		合計	R5.4供給量	公立再編整備		合計	R5.4供給量	公立再編整備		合計
A	50			50	196			196	348			348
B	127			127	459			459	827	-23		804
C	134			134	455			455	861			861
D	139			139	562			562	981	-18		963
E	55			55	192			192	386			386
F	202			202	700			700	1,164	-20		1,144
G	111			111	436			436	910	-29		881
合計	818	0	0	818	3,000	0	0	3,000	5,477	-90	0	5,387

令和元年度 施設整備一覧(R2. 4開園)

民間保育施設

地域	法人名	園名(仮称)	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
A	社会福祉法人 幸祥会	くさか保育園	6	8	10	12	12	12	60
B	社会福祉法人 今川福祉会	東大阪青い鳥保育園	6	15	15	18	18	18	90
F	社会福祉法人 杏林福祉会	木の実キッズキャンパス八戸ノ里	9	12	15	18	18	18	90
G	社会福祉法人 どんぐり福祉会	第二どんぐり保育園	6	8	10	12	12	12	60
合計			27	43	50	60	60	60	300

小規模保育施設

地域	法人名	園名(仮称)	0歳児	1歳児	2歳児	合計
B	社会福祉法人 正行福祉会		5	7	7	19
D	社会福祉法人 さわらび会		5	7	7	19
D	株式会社エアフォルク		5	7	7	19
F	社会福祉法人 椎木会		5	7	7	19
F	レンキスマネージメント株式会社		5	7	7	19
合計			25	35	35	95

幼稚園関係

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
D	岩田幼稚園の幼稚園型認定こども園への移行				18	19	19	56
E	徳庵愛和幼稚園の幼稚園型認定こども園への移行				8	8	8	24
合計		0	0	0	26	27	27	80

市整備数合計

地域	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
A	6	8	10	12	12	12	60
B	11	22	22	18	18	18	109
D	10	14	14	18	19	19	94
E				8	8	8	24
F	19	26	29	18	18	18	128
G	6	8	10	12	12	12	60
合計	52	78	85	86	87	87	475

企業主導型保育事業 令和2年3月31日見込

NO	法人名	施設名	地区	定員	備考
1	株式会社エイジングインプレイス	こころ保育園	A	19	
2	(株)松下金属工業	芸術みらい保育園	B	43	
3	合同会社 関西チャイルドケア	KiKiひょうたんやま保育園	B	12	
4	(株)ベルキス	リトカ知育保育園 瓢箪山	B	19	
5	㈱アシスト	いけしまあやめ保育園	B	19	
6	(株)ライフケア	企業主導型保育園 いけしま	B	19	
7	医療法人松浦医院	みその保育園	B	17	R1. 12開園予定
8	(株)松下金属工業	石切みらい保育園(仮)	B	15	R1. 8開園予定
B合計				144	
9	(株)ベルキス	リトカ知育保育園 水走WEST	C	40	
10	(株)フレステザイン	リトカ知育保育園 水走EAST	C	18	
11	(特非)あいうえお	鴻池かるがも保育園	C	12	
12	株式会社ネオリンクス	いろは保育園	C	12	
13	(特非)あいうえお	鴻池こあら園	C	12	
14	(特非)ガイア	鴻池ぱんだ園	C	12	
15	(特非)あいうえお	鴻池うさぎ園	C	19	
16	株式会社 アイディアルサポート	アイディアルKIDS保育園	C	19	
17	株式会社 ベル	ふくふく保育園	C	12	
18	社会福祉法人みやび会	ほんじょう保育園	C	12	
C合計				168	
19	(株)ノースリーパー	岩田ゆずのき保育園	D	12	
20	特定非営利活動法人	くるみの森	D	60	R2. 3開園予定
D合計				72	
21	(株)StarSeed	ニコニコ保育園 とくあん	E	12	
22	株式会社 関通	マーブル保育園	E	12	
E合計				24	
23	(株)MEDICAL UP	癒しの森保育園	F	19	
24	(株)レンキスマネージメント	のぞみキッズ	F	19	
25	(学法)川田学園	ふかえキッズ	F	18	
26	(株)キノシタ大阪	そらいろ保育園	F	19	
27	岩崎靖璋(株)イワサキ	なの花保育園	F	18	
28	株式会社OBU	こころ保育園	F	12	
29	㈱エアフォルク	わくわくげんきッズ二条通り園	F	12	
30	(株)MASHU	ぷちまっしゅ	F	19	
F合計				136	
31	(社福)美正福祉会	プレジャー・キッズ	G	6	
32	有限会社 ICB	きらぼし保育園 俊徳道園	G	12	
33	(社福)かわち野福祉会	かわちのキッズルーム	G	6	
34	株式会社 Eikyu	小若江 いるか保育園	G	12	
35	(株)万代	ゆうあいMキッズランド	G	51	
G合計				87	
総合計				650	

(公益財団法人児童育成協会からのデータを集計)

事業計画において、供給量として計上する数値

令和元年10月1日現在の利用状況

27園 定員509人 利用者412人 稼働率81%

定員650人 × 81% = 526人

## 企業主導型保育事業 定員の考え方

### 企業主導型保育事業(令和2年3月31日現在見込み)

	定員	供給量 (81%)	0歳	1・2歳	3歳以上
割合			30%	50%	20%
A	19	15	4	8	3
B	144	117	35	59	23
C	168	136	41	68	27
D	72	58	17	29	12
E	24	19	6	9	4
F	136	110	33	55	22
G	87	71	21	36	14
合計	650	526	157	264	105

※事業状況報告(平成31年3月31日現在)から、利用児童の年齢別の割合を算出した。

幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、企業主導型保育事業の利用者情報が把握できるようになったこともあり、今後、精査をしていく中で、直近の情報に更新する可能性があります。

## 令和元年度 子ども・子育て支援事業計画確保方策の検討について

### 1. 地域子育て支援拠点事業

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ニーズ量(人回)	98,521	96,981	94,857	92,552	90,237
供給量(人回)	99,415	99,415	99,415	99,415	99,415
必要見込量(人回)	-894	-2,434	-4,558	-6,863	-9,178

#### 【対応方針案】

ニーズ量に対し、現在の供給量で充足できているため、今回の計画では新たな確保は行いません。唯一子育て支援センターが設置されていないA地域においては、リージョン別の拠点の確保を課題とした前回の計画を踏襲し、整備を進めてまいります。

### 2. 一時預かり事業

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ニーズ量(人日)	62,804	62,352	60,649	59,026	57,205
供給量(人日)					
①民間施設	62,400	62,400	62,400	62,400	62,400
②公立(保育室所管分)	28,560	28,560	28,560	28,560	28,560
③公立(教育所管分)	6,240	6,240	6,240	6,240	6,240
合計	97,200	97,200	97,200	97,200	97,200
必要見込量(人日)	-34,396	-34,848	-36,551	-38,174	-39,995

#### 【対応方針案】

供給量設定を全て定員ベースとします。供給できるハードは各施設で整備されており、人材が確保できれば供給可能となります。そのため、令和元年度より保育士確保に向けて新たに実施している施策の効果や動向を踏まえて検討し、人材確保に向けた取組を行ってまいります。

### 3. 病児保育事業

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ニーズ量(人日)	2,727	2,671	2,618	2,564	2,512
供給量(人日)	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
必要見込量(人日)	-2,073	-2,129	-2,182	-2,236	-2,288

#### 【対応方針案】

ニーズに対し、現在の供給量で充足できていますが、地域の偏在を考慮し東地区に新たに1箇所開設を目指してまいります。

## 東大阪市在宅子育て座談会(ワールドカフェ)まとめ

### 開催概要

#### 1. 開催目的

第2期東大阪市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、在宅子育て支援の充実に向けて、在宅子育てをしている家庭に対してどのような支援策が必要とするか、アンケートでは聞けない住民の生の声を聞くために、ワールドカフェ(座談会)形式で実施しました。

#### 2. 対象者

在宅で未就学児の子育てをしている方

#### 3. 募集方法

市政だより、チラシ、子育て支援センター、子育てサークル、ウェブサイト、子育てアプリ等を通して募集

#### 4. 開催日と開催場所

開催日	8月19日(月)	8月21日(水)	8月22日(木)	8月23日(金)
開催時間	10:00～11:30	10:00～11:30	10:00～11:30	10:00～11:30
開催場所	イコーラム 第1研修室	東体育館 第3研修室	夢広場 大会議室	本庁22F 会議室2

#### 5. 参加者数

■合計:19名

開催日	8月19日(月)	8月21日(水)	8月22日(木)	8月23日(金)
参加者数	4名	5名	7名	3名

#### 6. 実施方法(座談会)

##### 主要な質問項目

- (1) 普段の情報収集方法
- (2) 相談先や普段利用している施設など
- (3) 子育ての大変さに対して、具体的にどのような支援や環境があったらいいと思うか
- (4) 自分で子どもをみられないときの対応
- (5) 無償化されたあとの子育てに関する影響
- (6) 就労意向と就労するために必要な支援
- (7) もう1人子どもを生むために必要な条件

項目	内容
(1) 普段の情報収集方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縄手南こども園の赤ちゃんタイム</li> <li>・家族(親族)</li> <li>・市政情報誌</li> <li>・友達</li> <li>・すくすくトライ</li> <li>・ポスター</li> <li>・情報誌</li> <li>・<u>子育て支援センター</u></li> <li>・<u>子育てサークル</u></li> <li>・<u>つどいの広場</u></li> <li>・<u>SNS (Facebook, Instagram)</u></li> <li>・インターネット</li> </ul>
(2) 相談先や普段利用している施設など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親族</li> <li>・保育所(きょうだいに通っている)</li> <li>・コミュニティサロン</li> <li>・<u>友達</u></li> <li>・SNS 仲間</li> <li>・<u>子育て支援センター</u></li> <li>・<u>つどいの広場</u></li> <li>・保健師(子どもの気になる様子などを相談する)</li> <li>・保育士(知識をもらう)</li> <li>・先輩ママ(安心をもらう)</li> </ul>
(3) 子育ての大変さに対して、具体的にどのような支援や環境があったらいいとおもうか	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一時預かりについて</li> <li>・一時預かりを広めてほしい</li> <li>・<u>リフレッシュ型でも4時間は短い。延長可能にしてほしい</u></li> <li>・当日対応が可能な一時預かり</li> <li>・保育所にいつでも預けられるようにしてほしい</li> <li>・ファミリー・サポート・センターなどの登録がもっと気軽になったら嬉しい。</li> <li>・一時預かりはお金がかかり負担が大きい。</li> <li>・東地域の瓢箪山以南に一時預かりが少ない。</li> <li>■ 都市整備(公園、道路、バリアフリー関係)</li> <li>・公園の整備(衛生面や公園の雑草処理など)</li> <li>・公園の砂場に屋根、ベンチ</li> <li>・駅のエレベーター(複数台、広く)</li> <li>・街に緑があったら良い。田んぼ、桜、緑の多い公園など。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が狭い。</li> <li>・道がガタガタで、ベビーカーや自転車で通りにくい。</li> </ul> <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に買い物し荷物を持ってくれる支援者さん(サポーター)</li> <li>・地区ごとに保育の需要と供給に偏りがあると感じる</li> <li>・離乳食を作るのが大変⇒親子教室などで出てくるメニュー、保育園の献立表などがとても参考になる</li> <li>・室内の遊び場(雨でも暑くても遊べる場所)</li> <li>・子ども用品店がもっとほしい。</li> <li>・つどいの広場は未就学児しか入れられない。</li> </ul>
(4) 自分で子どもをみられないときの対応	<p>■一時預かり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時預かり</li> <li>・保育所に預けている</li> <li>・保育所の一時預かりを利用しているが、いつでも対応可能なわけではないので、預ける場所に困っている</li> </ul> <p>■支援を利用していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族がみってくれる</li> <li>・預けることが不安なので利用していない</li> <li>・今まで利用したことがないが、一時預かりやファミリー・サポート・センターなどは気になっている</li> <li>・家族にみてもらえるが、家族の負担を考えると不安</li> </ul>
(5) 無償化されたあとの子育てに関する影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無償化したとしても、無償化前から希望している施設(幼稚園または保育所)に入れたいと思う。</li> <li>・無償化したとしても、家から近いことが重要。</li> <li>・無償化よりも、子どもを預けられる施設を増やしてほしい。</li> </ul>
(6) 就労意向と就労するために必要な支援	<p>■就労を希望する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもをみてくれたら働きたい。</li> <li>・子どものことで、気軽に休むことができる、(今日は在宅勤務など)仕組みが必要。</li> <li>・社会との接点を持つためにも、就労はしたいが、入所できるかが不安。</li> </ul> <p>■就労よりも子育てしたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の手で子どもをみたい。子どもを自分でみるのは当たり前だし、子どもにとって親が身近にいることで安心を感じて育ってほしい。</li> </ul>

	<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家計のためにやむを得ず働くのではなく、働いてもいいし、働かなくても安心して子育てができるような経済的支援をしてもらいたい。</li> <li>・子どもを預けて働いたとしても、不安だから働きにくい。</li> <li>・仕事をしていない期間が長くて、働くことが不安。いきなり正社員ではなく、融通の利く働き方ができれば嬉しい。</li> <li>・子どもが生まれると再就職が難しいので、パートでも育児休業を取りやすいなど制度を充実させてほしい。</li> </ul>
(7)もう1人子どもを生むために必要な条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会全体の理解(電車にファミリー車両を整備、子ども連れでお店に入っても迷惑がられない、映画や音楽を鑑賞のために子どもと一緒に入っても迷惑にならないような施設を整備してほしい)</li> <li>・経済的な面での将来不安。これからいくら掛かるのかが不安。</li> <li>・<u>第1子の支援が手厚ければ、2人目を考える。</u></li> <li>・1人の時間がほしい。大人と話をしたい。初産のときは、産後うつになり、不安が多かった。そういう時は、情報を得ようとするのも億劫になる。</li> <li>・育休の義務化や夫婦で子育てに積極的に関わる仕組み(プレママ、プレパパ研修には仕事などで参加できない。男性にも子育て、出産の大変さを知ってほしい。知らないことが多すぎる。生んで終わりではない。)⇒もっと学校で具体的な大変さも一緒に教育してほしい。</li> <li>・飲食店などにファミリー・ルームや離乳食があると良い。</li> <li>・妊娠中は、出かけるのも不安。就労もしていたので、市主催の講習も時間が合わない事があった。</li> <li>・こんにちは赤ちゃん事業は心強かった。何度も来てくれたというママ友がいて、そういう手厚い支援は嬉しい。</li> <li>・不妊治療は検査だけでも相当高額でハードルが高い。</li> </ul>
(8)その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児保育は他からの感染が心配で利用していない。</li> <li>・妊娠、出産、子育ての変化についていくのが想像以上に大変だった。</li> <li>・結婚する人がそもそも増えていないから、結婚することで目に見えるメリットがあると良い。</li> <li>・講習の実施、同じ月齢の子どもを持つママ同士の交流ができる場があれば良い。</li> <li>・車移動が多いので、各施設に駐車場があると助かる</li> <li>・10代でママになった方の居場所が必要だと思う。⇒サークルなどの参加者は年上ママが多く、白い目で見られることも多い。</li> <li>・シングルで子育てしている方へのサークル作りの支援があれば良い。</li> </ul>